

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公開番号】特開2017-200772(P2017-200772A)
 【公開日】平成29年11月9日(2017.11.9)
 【年通号数】公開・登録公報2017-043
 【出願番号】特願2017-153779(P2017-153779)
 【国際特許分類】

B 4 2 D 9/06 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 9/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月30日(2017.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

以上の課題を解決するため、本発明の一の態様によれば、見開き頁のうちの一方の頁に所定のアーム部の先端に取り付けられた部材を接触させるとともに、該接触に基づいて前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記先端が円弧状の軌跡を描くように前記アーム部を動作させることにより前記見開き頁のうちの他方の頁側に導く制御手段を備え、前記制御手段は、前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記他方の頁側に導くために前記アーム部を前記先端が円弧状の軌跡を描くように動作させる際に、前記アーム部が前記所定の部材に付着した前記一方の頁を所定の位置で前記所定の部材から振り払う動きとなるように前記アーム部を動作させることを特徴とする頁めくり装置が提供される。

また、本発明の他の態様によれば、頁めくり装置が実行する頁めくり方法であって、見開き頁のうちの一方の頁に所定のアーム部の先端に取り付けられた部材を接触させる工程と、前記接触に基づいて前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記先端が円弧状の軌跡を描くように前記アーム部を動作させることにより前記見開き頁のうちの他方の頁側に導く工程と、前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記他方の頁側に導くために前記アーム部を前記先端が円弧状の軌跡を描くように動作させる際に、前記アーム部が前記所定の部材に付着した前記一方の頁を所定の位置で前記所定の部材から振り払う動きとなるように前記アーム部を動作させる工程と、を含むことを特徴とする頁めくり方法が提供される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

見開き頁のうちの一方の頁に所定のアーム部の先端に取り付けられた部材を接触させるとともに、該接触に基づいて前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記先端が円弧状の軌跡を描くように前記アーム部を動作させることにより前記見開き頁のうちの他方の頁側に導く制御手段を備え、

前記制御手段は、前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記他方の頁側に導くため

に前記アーム部を前記先端が円弧状の軌跡を描くように動作させる際に、前記アーム部が前記所定の部材に付着した前記一方の頁を所定の位置で前記所定の部材から振り払う動きとなるように前記アーム部を動作させることを特徴とする頁めくり装置。

【請求項2】

前記所定の部材は、粘着部材であって、該粘着部材が前記一方の頁に付着することを特徴とする請求項1に記載の頁めくり装置。

【請求項3】

頁めくり装置が実行する頁めくり方法であって、見開き頁のうち一方の頁に所定のアーム部の先端に取り付けられた部材を接触させる工程と、

前記接触に基づいて前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記先端が円弧状の軌跡を描くように前記アーム部を動作させることにより前記見開き頁のうちの他方の頁側に導く工程と、

前記所定の部材に付着した前記一方の頁を前記他方の頁側に導くために前記アーム部を前記先端が円弧状の軌跡を描くように動作させる際に、前記アーム部が前記所定の部材に付着した前記一方の頁を所定の位置で前記所定の部材から振り払う動きとなるように前記アーム部を動作させる工程と、

を含むことを特徴とする頁めくり方法。